

# 経済センサス - 活動調査

平成24年2月1日

ビルくんとケイちゃん



業所と新設事業所は、県が任命する調査員が事業所に伺い、調査票の配布・回収を行います。

## ② 国県・市による調査

支社・支店などがある企業は、支社・支店などの調査票を含め、本社に郵送で調査票を送付し、本社が一括して郵送提出またはインターネット回答する方法で行います。

## ■ 調査結果の利用

国内総生産(GDP)、県民所得などの推計、地域の産業振興のための施策、地方消費税を県や市町に交付する際にも使用されます。

今回の『活動調査』は、基礎調査の結果をもとに、事業所等の経済活動の実態を調査します。

## ■ 調査事項

従業者数・事業内容などの基本的事項、売上高や費用などの経理事項 ほか

## ■ 調査方法

① 調査員による調査  
支社・支店などがない単独事

特に今回の調査では、東日本大震災が我が国の経済活動に及ぼした影響も把握することとしており、調査結果は、今後の復興の状況を確認するための貴重な資料となります。調査へのご協力をお願いします。

## 問い合わせ

企画課政策推進係  
☎0824-73-1112

## 安心・安全な毎日のために

庄原消防署 ☎0824-72-9911  
東城消防署 ☎08477-2-4005

## 地震から身を守るために

「グラツときたら、まず落ち着いて身の安全を確保する」

突然地震に襲われたとき、私たちは適切な行動がとれるでしょうか？

今年の3月11日に発生した東日本大震災は、津波に限らず火災や家屋倒壊による被害が多発しました。大きな被害をもたらす地震災害は、ある時突然やってきます。こうした災害に遭ったとき、あなたはどうしますか？

被害を最小限に抑えるためには、皆さん一人一人が災害に対する正しい知識を身に付け、いざという時に落ち着いて的確な行動をとることが重要です。

### ☆地震への備えは

- ① 倒れそうな家具は固定し、落下の危険があるものなど、家の中を点検しておきましょう。
- ② 懐中電灯や携帯ラジオなど、非常持ち出し品の準備をしておきましょう。
- ③ 家族で安全な避難経路、場所を話し合っておきましょう。

### ☆屋内で地震に遭ったとき

- ① テーブルや机の下などにもぐり、落下物から身を守りましょう。
- ② 火を使っている場合はすばやく消しましょう。
- ③ 揺れの小さいうちに、ドアなどを開けて避難口を確保しましょう。

### ☆屋外で地震に遭ったとき

- ① 狭い路地や塀ぎわは、物が落下してきたり、塀が倒れてきたりするので遠ざかりましょう。
- ② 落石注意の看板がある道路は、特に気をつけましょう。

### ☆地震後の行動と注意

- ① テレビやラジオで最新の正しい情報を聞くようにしましょう。
- ② 隣近所でケガ人を救護することや、初期消火など助け合うことが大切です。
- ③ 避難するときは徒歩で、持ち物は最小限にしましょう。

